



岐阜市の水道
Water service in Gifu City



■ 水道事業のあらまし

岐阜市は清流長良川畔に発達した都市で、地下水は良質で、豊富であり、そのまま飲み水として利用されていましたが、大正中期ごろから工場排水や家庭からの排水による井戸への影響が問題となり、水道の必要性が叫ばれるようになりました。

また、昭和初期には、岐阜市が衛生的な文化都市として発展していくため、水道の建設が提案され、昭和3年に長良川左岸（鏡岩水源地）に浅井戸を造り、伏流水を水源として旧岐阜市内南部全域（計画給水人口55,000人、一日最大給水量6,105m³、総事業費820,115円）に給水できるように創設工事に着手し、昭和5年3月には一部給水を始め、昭和9年3月に完成しました。

その後、昭和20年7月9日の第2次世界大戦大空襲により市街地の約80%が被害を受けましたが、順調に復興が進み、人口の増加、市勢の拡大、生活様式の近代化、産業の興隆発展による水需要の増加にあわせて、水源地の建設や配水管網の整備拡充を行うとともに、昭和62年から平成17年にかけて、32箇所の簡易水道を順次上水道と統合し、安定給水を図ってきました。また、平成18年1月には柳津町との合併に伴い、水道事業の統合を行いました。

現在は、平成27年2月に取得した第10期拡張事業認可（計画給水人口356,100人、一日最大給水量177,300m³、総事業費89億円、平成36年度完成）に基づき、事業を進めています。

■ 水道の創設と事業の経過

区分	項目	着工年月	完成年月	計画給水人口	工 事 費	備 考
第1期事業 （創設）		昭和 3年12月	昭和 9年 3月	55,000人	82万円	旧市内南部 鏡岩水源地建設
第2期事業		昭和 6年 6月	昭和10年 3月	125,000人	66万円	旧市内北部
第3期事業		昭和24年 8月	昭和27年 3月	148,000人	35百万円	
第4期事業		昭和27年 2月	昭和31年 3月	125,000人	1億円	長良、鷺山地区 雄総水源地建設
第5期事業		昭和31年 1月	昭和41年 3月	192,000人	6億円	
第6期事業		昭和43年 4月	昭和53年 3月	332,000人	22億円	
第6期事業 1次変更		昭和46年 3月	昭和53年 3月	334,000人	48億円	
第6期事業 2次変更		昭和54年 4月	昭和59年 3月	295,000人	30億円	本荘水源地建設 下川手水源地建設
第7期事業		昭和59年 4月	平成 8年 3月	295,000人	92億円	
第7期事業 1次変更		昭和62年 4月	平成 8年 3月	386,700人	105億円	市橋水源地建設
第8期事業		平成 5年 8月	平成21年 3月	397,000人	274億円	西部水源地（木田水源地）建設 配水池の建設
第8期事業 1次変更		平成11年10月	平成21年 3月	400,400人	218億円	
第9期事業		平成17年 3月	平成26年 3月	374,600人	164億円	高度浄水施設の導入
第9期事業 1次変更		平成20年 4月	平成26年 3月	381,500人	79億円	高度浄水施設の処理方法の 変更（紫外線処理の導入）
第10期事業		平成27年 2月	平成37年 3月	356,100人	89億円	

岐阜市水道

■ 岐阜市水道区域図



凡 例	
	鏡岩給水ブロック
	雄総給水ブロック
	芥見給水ブロック
	三輪給水ブロック
	木田給水ブロック
	柳津給水ブロック
	水 源 地
	行 政 区 域 界

■ 施設の状況

岐阜市は濃尾平野の中心部に位置し、源流を大日ヶ岳とする長良川が流れており、地下水が良質で豊富なため、本市の水道はその水源を全て長良川の伏流水を含む地下水に求めています。

平成28年度末現在、鏡岩水源地をはじめ18箇所の水源地が稼働していますが、これらの水源地からお客様への給水は、ポンプ直送方式や高地に設置した配水池を利用する間接方式で行っています。

また、より安全で安心な水道水を供給するため、伏流水を水源とする鏡岩及び雄総水源地において、紫外線処理による高度浄水施設を整備し、平成23年4月から処理を開始しました。なお、各水源地や加圧施設の運転は、上下水道事業部本庁舎からの遠隔監視により制御しています。



雄総水源地



黒野第1配水池



水道施設監視装置



配水管(耐震管)の布設状況

■ 水道のあゆみ

年 月	事 項	年 月	事 項
明 治 末 期	一部識者の間に水道、下水道の必要性が叫ばれる	昭和63年 3月	水道部分庁舎完成
大 正 末 期	市民から水道布設の要望高まる	昭和63年 4月	水道整備事業着手
大 正 1 2 年	水道布設の調査研究始まる	平成 7年 4月	第 2 期水道整備事業着手
昭 和 元 年	佐野工学博士により最初の計画案がまとめられる	平成 8年 5月	第 47 回全国水道研究会岐阜市に於いて開催
	岐阜振興会を中心に水道会社設立案が提示される	平成12年10月	市役所南庁舎から旧北保健センター及び水道部分庁舎へ移転
昭和 3年 3月	第 10 代松尾国松市長水道建設案を市議会に提出	平成14年 3月	鏡岩配水池完成
昭和 3年10月	水道創設工事内務省認可（計画給水人口 55,000 人）	平成17年 4月	第 3 期水道整備事業着手
昭和 5年 3月	鏡岩水源地通水	平成17年 7月	ペットボトル水“清流長良川の雫”製造
昭和20年 7月	岐阜空襲により市中心部焼失、水道施設大被害	平成18年 1月	柳津町を編入、合併
昭和21年 4月	戦災復興事業に着手	平成18年 3月	上下水道事業中期経営プラン策定（平成 17 ～ 21 年度）
昭和28年 1月	地方公営企業法施行に伴い同法の適用を受ける（企業会計採用）	平成20年12月	岐阜市水道ビジョン策定
昭和28年 5月	雄総水源地通水（長良川以北に初めて給水）	平成21年 1月	窓口、検針、料金収納等営業関連業務の包括的外部委託に伴い「岐阜市上下水道料金センター」開設
昭和28年 9月	厚生大臣から「保健文化賞」を受賞		
昭和29年 1月	美江寺町に水道部新庁舎落成	平成22年 3月	上下水道事業中期経営プラン2010策定（平成 22 ～ 26 年度）
昭和29年 9月	日本水道協会岐阜県支部設立	平成22年 9月	八代本庁舎、則武分庁舎、水質管理課を中部プラント地内の新庁舎に統合移転
昭和34年 9月	伊勢湾台風により水道施設にも被害が出る		
昭和41年 2月	今沢町市庁舎完成、水道部移転	平成23年 2月	鏡岩及び雄総水源地紫外線処理施設完成
昭和56年10月	水道部南庁舎に移転	平成23年 4月	第 4 期水道整備事業着手
昭和57年 5月	第 33 回全国水道研究会岐阜市に於いて開催	平成27年 3月	上下水道事業中期経営プラン策定（平成 27 ～ 31 年度）
昭和60年 3月	主力水源一帯の長良川中流域が環境庁の「名水百選」に選定される	平成27年 4月	第 5 期水道整備事業着手
昭和60年 4月	鏡岩水源の原水が厚生省の「おいしい水」に選定される	平成29年 3月	岐阜市新水道ビジョン策定

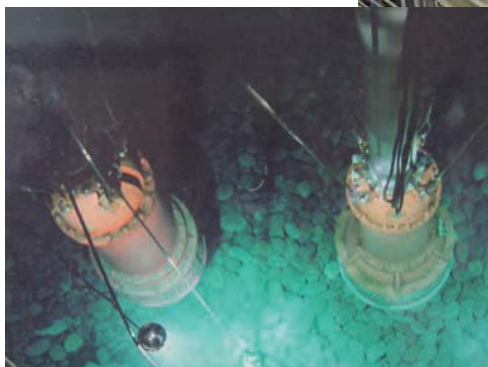
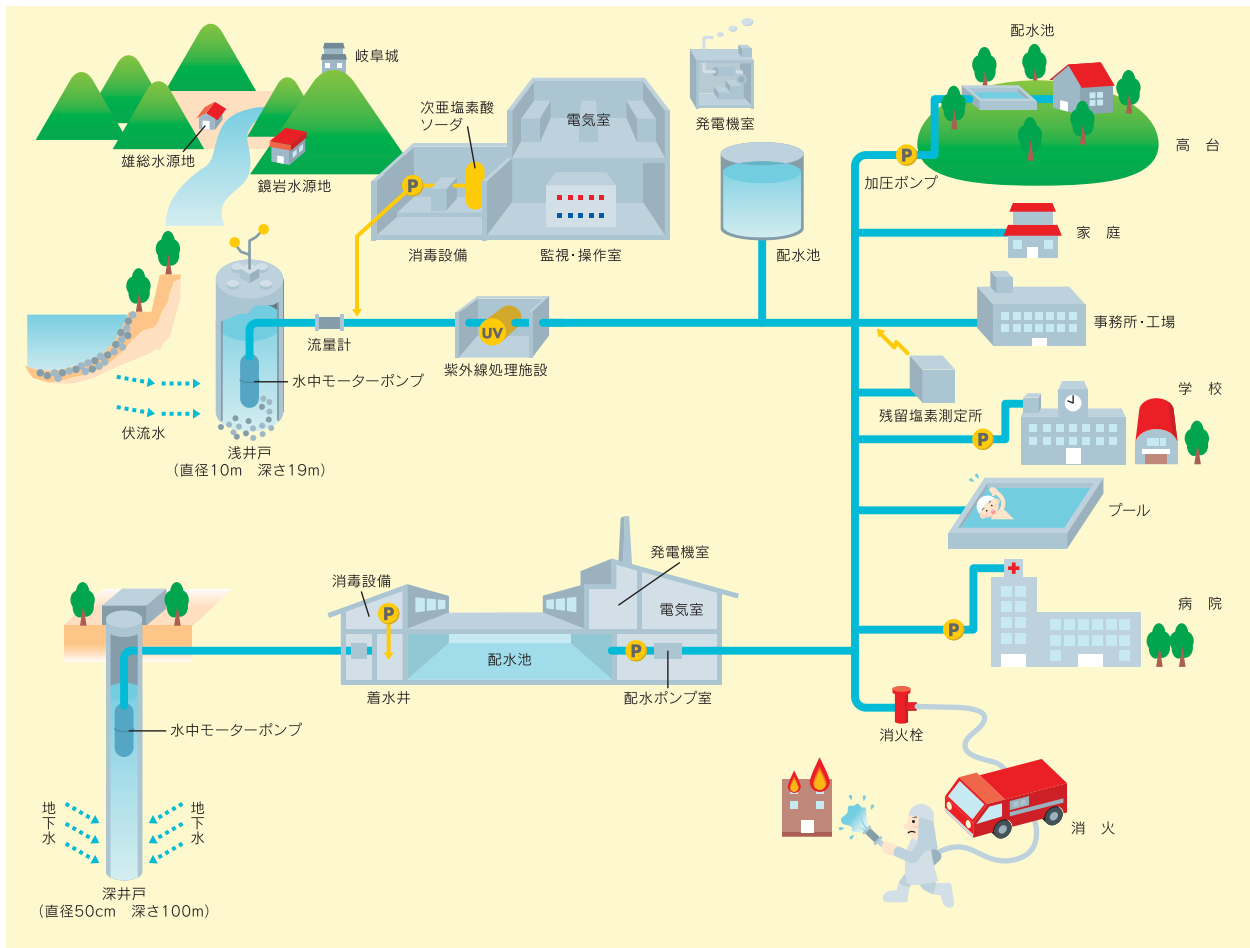


鏡岩水源地



鏡岩配水池

■ 水道のしくみ



鏡岩水源地の1号井の内部



鏡岩水源地紫外線処理施設

■ 水道事業の経営

水道事業は、法律によって「事業に必要な経費は、その経営に伴う収入をもって充てること」と定められていることから、お客様からの料分で経営をしています。

しかしながら、岐阜市は、清浄な地下水が豊富なため、水道の普及率も全国平均(98%)に比べ85.5%(平成28年度末)と低く、また、近年の節水機器の普及等もあり、料金収入の伸びが期待できない一方、起こりうる大規模地震に備えた対策や老朽化した水源施設及び配水管の更新にかかる費用の増加により、財政状況はますます厳しくなっています。

こうした中、お客様の日常生活と社会全体を支える重要な役割を担う水道水を将来にわたり安全かつ安定的に供給するため「岐阜市新水道ビジョン」、「岐阜市上下水道事業中期経営プラン」を策定し、経営の効率化と経営基盤の強化に努めています。

■ 「岐阜市新水道ビジョン」 基本理念

確かな技術で	強靱
ふ	持続
し	安全
信頼される ぎふしの水道	

■ 目指すべき方向性



■ 給水戸数・水道料金・配水量の推移

平成	戸数	5万	10万	15万	(戸)給水戸数			
25					146,020戸			
					5,189,700千円			
					52,333,807m³			
26					147,086戸			
					5,433,186千円			
					52,306,883m³			
27					148,260戸			
					5,678,637千円			
					52,510,811m³			
28					149,751戸			
					5,685,259千円			
					52,476,224m³			
年度	料金	10億	20億	30億	40億	50億	60億	(円)水道料金
	水量	1千万	2千万	3千万	4千万	5千万	6千万	(m³)配水量

■ 水道の普及状況

区分	行政区域内		給水区域内		給水		普及率
年度	戸数	人口(A)	戸数	人口	戸数	人口(B)	B/A
平成25	173,006戸	415,113人	173,088戸	415,377人	146,020戸	355,458人	85.6%
平成26	174,490戸	414,382人	174,575戸	414,633人	147,086戸	354,791人	85.6%
平成27	175,371戸	412,589人	175,459戸	412,841人	148,260戸	353,166人	85.6%
平成28	177,102戸	412,254人	177,192戸	412,494人	149,751戸	352,460人	85.5%

水質

岐阜市の水道水源は、全て良好で良質な地下水であり、それぞれの水源でくみ上げた原水に消毒剤を添加して、水道水として給水しています。

また、安全でおいしい水を安心して飲んでいただくため、水道法に定められた水質基準項目の水質検査を行っています。



高速液体クロマトグラフ

おいしい水

岐阜市は昭和60年4月に旧厚生省により水道水のおいしい都市（人口10万人以上で市民の大部分がおいしい水道水を利用できる都市）の32都市に選定されるとともに、主な水源である長良川は環境省の名水百選に選ばれました。現在も、旧厚生省の定めた要件を満たした、おいしい水を供給しています。

・旧厚生省が定めたおいしい水の水質要件と鏡岩水源地の水道水の水質数値表（平成29年4月）

区 分	蒸発残留物 (mg/l)	硬度 (mg/l)	遊離炭酸 (mg/l)	過マンガン酸 カリウム消費量 (mg/l)	臭気強度 (TON)	残留塩素 (mg/l)	水温 (℃)
おいしい水の水質要件	30～200	10～100	3～30	3以下	3以下	0.4以下	20以下
鏡岩水源地の水道水	44	21	5.2	0.5	1未満	0.4	14.0



ペットボトル水「清流長良川の雫」

岐阜市上下水道事業部

〒500-8156 岐阜市祈年町4丁目1番地

TEL 058-259-7878(代表) FAX 058-259-7522

ホームページアドレス <http://www.city.gifu.lg.jp/water/>